

## こども家庭庁所管統計調査に関する点検・評価の様式

政府統計コード	00100105
基幹・一般の別(選択記入)	その他の一般統計調査
調査の名称	青少年のインターネット利用環境実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他 青少年インターネット環境整備法に基づく基本計画の改定、こどもまんなか実行計画等
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 1.調査の目的</li> <li>☐ 2.調査対象の範囲 ※</li> <li>☐ 3.報告者数等※ <span style="font-size: 2em;">}</span> <span style="font-size: 0.8em;">報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</span></li> <li>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ <span style="font-size: 2em;">}</span> <span style="font-size: 0.8em;">報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</span></li> <li>☐ 5.報告の方法 ※ <span style="font-size: 2em;">}</span> <span style="font-size: 0.8em;">報告を求めるために用いる方法</span></li> <li>☐ 6.報告を求める期間 ※</li> <li>☐ 7.集計事項 ※</li> <li>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ <span style="font-size: 2em;">}</span> <span style="font-size: 0.8em;">調査結果の公表の方法及び期日</span></li> <li>☐ 9.使用する統計基準</li> <li>☐ 10.調査票情報の保存 <span style="font-size: 2em;">}</span> <span style="font-size: 0.8em;">調査票情報の保存期間及び保存責任者</span></li> <li>☐ 11.立入検査 <span style="font-size: 2em;">}</span> <span style="font-size: 0.8em;">基幹統計調査のみ</span></li> </ul>	[ 全項目整合 ]
-----------------------------	---	-----------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 課題なし</li> <li><input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</li> <li><input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</li> </ul>
---	--

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	令和7年度調査時に報告者の抽出をした際、ヒューマンエラーが生じた。当該事例とその対応については、調査実施担当課の業務マニュアルに盛り込み、統計の品質向上に努めている。 なお、事例が蓄積されてきたタイミングで、他の統計調査における調査計画の記載内容を踏まえつつ、調査計画の抽出に関する項目にヒューマンエラーを想定した対応を盛り込むかどうかを検討する。	調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 <input type="checkbox"/> 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 <input type="checkbox"/> 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	達成精度	標本数の設置をする際に、過去の回収率を参考にしていることから、65%が指標となる。(調査計画_別添1-1標本数の設定より)		(令和6年度調査)	(令和5年度調査)	(令和4年度調査)
	○ 回収率・回答率			青少年：62.6%	青少年：65.6%	青少年：64.6%
	回収調査票数			保護者：63.5%	保護者：66.4%	保護者：65.5%
	カバレッジ			低年齢層：65.5%	低年齢層：72.0%	低年齢層：69.6%
	その他			※前回調査	※前々回調査	※前々前回調査
	設定なし					